

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	美術活動支援事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	05	01	05	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	戸部 孝彰				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市美術家協会および一般市民	意図	市展開催事業を通し、市民へ美術文化の普及と振興を図る。
事業内容	流山市展に対し、活動費の一部を補助する。			
事業開始から現在までの状況変化	本事業は平成22年度から芸術・文化振興事業から独立。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	市展の出品数（絵画）	145	150	148	
②	市展の出品数（工芸・彫刻）	27	28	25	点	→→	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成26年度の出展数は前年度と比較すると若干減少している。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		543,560	499,740	498,185			
事業費(b)(円)		400,000	360,000	360,000			
うち一般財源		400,000	360,000	360,000			
職員給与費(c)(円)		143,560	139,740	138,185			
人役・職員(人)		0.02	0.02	0.02			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	美術家協会に補助金を交付し、流山市展などの事業を補助する。	③取り組みの課題	美術愛好家のさらなる拡大。
②今年度(H26)に実施した取り組み	多くの市民が絵画や彫刻を出展し、プロの作品と、愛好家の作品を一堂に鑑賞できる場を広く公開した。	④今後の改善計画	同協会への活動支援を継続する。